

ワシントン大学短期英語プログラム報告書

2013.2.17-3.10

北海道教育大学札幌校
養護教育専攻 2年 松原百伽

《STEPプログラム》

▼クラス分け

プログラム初日は、大学案内の映像を使ったリスニングテスト、先生とのスピーキングテストを行い、このテストの結果で3つのクラスに分けられました。1クラス13名前後で先生が1人ついていきます。レベルごとに分けられているうえ、先生も丁寧に説明して下さるので、とても充実した活動ができました。

▼授業内容

私のクラスでは、毎日ウォーミングアップとしてペアトークやグループトークを行った後、テキストをつかって身近な話題についてのディスカッションをしたり、『ELF』という映画を鑑賞したりしました。難しい単語がでてきたときは先生が丁寧に説明して下さり、基本的な発音の仕方なども教えて下さるので、とてもわかりやすかったです。毎週木曜日にはフィールドトリップがあり、大学の博物館やビルゲイツミュージアム、フリーモントの町などへ出かけて学習を行いました。最終週には現地の方々へのアンケート結果をもとにグループごとのプレゼンテーションを行いました。準備などは大変でしたが、現地の方々とのコミュニケーションを通して沢山英語を話す機会を得ることができたのでよかったです。



↑ Alinaクラス。3週間でとても仲良くなりました！

《シアトルでの生活》

▼1日の流れ

・平日…午前中に授業があり、午後は自由時間でした。授業が終わった後は大学の食堂や大学周辺の店で昼食をとり、シアトルの町の様々なところを観光したり、大学の周りで買い物をしたりと、とても有意義な時間を過ごすことができました。毎週火曜と木曜の放課後には大学の方がシアトルの町を案内して下さるフィールドトリップがあったので、それに参加することもありました。

・休日…休日は授業がないので、ホストファミリーと出かけたり友達と観光をしたり、自由に過ごすことができます。第2週目の休日には1泊2日でポートランドへ行きました！



←放課後、シアトルマリナーズの本拠地セーフコフィールドへ。

休日、ポートランドにあるペンドルトン工場へ。





▼ワシントン大学

大学構内は日本の大学とは全く比べ物にならないほど広く、古典的で立派な建物から新しく綺麗な建物まで様々です。広すぎて、降りるバス停を間違えると歩くのが大変です。ハリーポッターに出てきそうな程素敵な図書館や大きな博物館があり、晴れた日にはとても素晴らしい景色を見ることができ、本当に夢のような大学でした。大学の周りはユニバーシティディストリクトという学生街のような街で大きなショッピングモールもあり、毎日買い物したりカフェへ行ったりして過ごしていました。

←大学の図書館

▼シアトルの街

・気候…気温は札幌よりも少し暖かいくらいで、雪は全くありません。しかし、海が近いせいもあり風が冷たく、雨の日が多いため、とても寒く感じました。そのため、服装は札幌で過ごすのと全く同じ感じで問題ありませんでした。

・交通機関…バスでの移動が主でした。私のステイ先はマウントレイクテラスというダウンタウンや学校からとても離れた場所だったので、どこへ行くにもバスを2~3本乗り継いで移動していました。乗り継ぎのバス停が少し離れた場所にあたり、乗るはずのバスが来なかったりと、戸惑ったことも多くありましたが、運転手さんなど現地の人々に沢山助けられました。



↑シアトルのバス

・その他…シアトルは都会でありながら自然も多く、とても綺麗な街でした。人々はみんなフレンドリーで困った時はすぐに助けてくれました。しかし、ダウンタウンに行くほどホームレスなどの数も多く、特に暗くなってからはとても危険なので、毎日夜6時には帰宅するように心がけていました。

《まとめ》

3週間という短い期間ではありましたが、毎日がとても刺激的で、沢山の貴重な経験をする事ができました。はじめは周りの人たちが何を言っているのかもわからず、自分の思っていることも上手く伝えることができず、辛いと感じることもありましたが、しかし、ステイ先の家族や先生、現地の人々や周りの友達に支えられて、本当に充実した時間を過ごすことができました。英語に関しては、日々リスニング力が鍛えられていることが実感でき、自分が思うように話すことができなくても、積極的に伝えようとする努力が大切であるということを知りました。また、アメリカの素晴らしさを知るとともに、日本の良さも再確認することができたように思います。この3週間は私にとって確実に自分自身を大きく成長させることができた素晴らしい時間でした。家族、友達、先生、出会ったすべての人に感謝したいと思います。



↑大学構内で。

修了証！！→



↑お世話になったホストファミリー